



千中だより

令和7年10月31日発行 臨時号

発行 千歳市立千歳中学校
千歳市栄町4丁目35
校長 山口 歩
電話 23-3161
FAX 23-3163



本校ホームページQR

<https://chitose-edu.jp/chitose-j/>

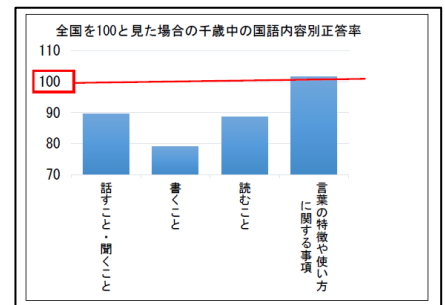
令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が4月17日（木）に実施され、過日、結果の個人票を配布いたしました。以下に生徒の傾向と概要を示します。この調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証してその改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てること、さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としております。また、今回の調査結果は、学力全体を特定するものではなく、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

国語 全国平均正答率と比較して「相当低い」の結果でした。

（右図：全国を100と見た場合の本校の内容別正答率）

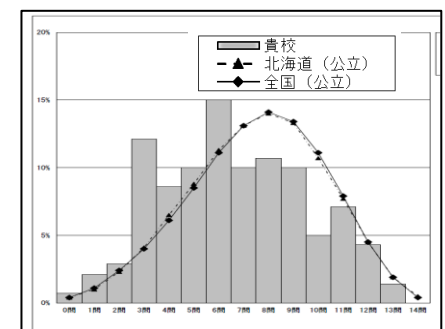
- ・言葉の特徴や使い方に関する事項…全国平均と比べ「同様」
- ・「話すこと・聞くこと」の領域…全国平均と比べ「低い」
- ・「書くこと」の領域…全国平均と比べ「相当低い」
- ・「読むこと」の領域…全国平均と比べ「相当低い」



○正答数の分布

（右図：正答数分布グラフ）

正答数5問以下の割合が22.5%、また、11問以上の割合が14.7%です。



<国語における成果と課題>

・「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる」設問や、「事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる」設問は、おおむねできていました。

・「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」設問に課題が見られました。実際の問題の一部を以下に示します。

1 二 中井さんは【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため

<国語における今後の指導や改善策>

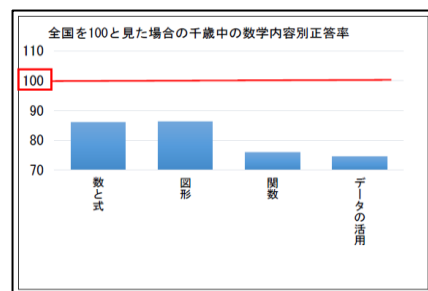
目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるような問題に継続して取り組みます。また、「思考力・判断力・表現力」を高め、書くことの能力を高めるよう指導していきます。

数学

全国平均正答率と比較して「相当低い」の結果でした。

(右図：全国を100と見た場合の本校の内容別正答率)

- ・「数と式」の領域 …全国平均と比べ「低い」
- ・「図形」の領域 …全国平均と比べ「低い」
- ・「関数」の領域 …全国平均と比べ「相当低い」
- ・「データの活用」の領域 …全国平均と比べ「相当低い」

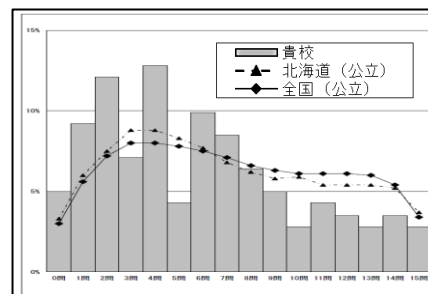


○正答数の分布 (右図：正答数分布グラフ)

正答数4問以下の割合31.8%、10問以上の割合33.1%です。

<数学における成果と課題>

- ・「素数の意味を理解しているかどうかをみる」設問や「多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる」設問はおおむねできていました。
- ・「相対度数の意味を理解しているかどうかをみる」設問に課題が見られました。設問の例を以下に示します。



5 右の表は、ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

20m以上25m未満の階級の相対度数を求めなさい。

| 階級 (m) | 度数 (人) |
|-------------|--------|
| 5 以上～10 未満 | 3 |
| 10 以上～15 未満 | 8 |
| 15 以上～20 未満 | 9 |
| 20 以上～25 未満 | 10 |
| 25 以上～30 未満 | 6 |
| 30 以上～35 未満 | 3 |
| 35 以上～40 未満 | 1 |
| 合計 | 40 |

<数学における今後の指導や改善策>

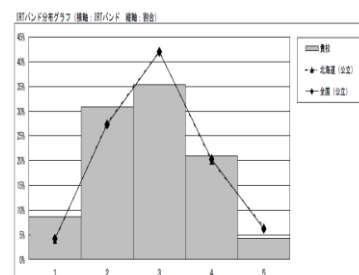
不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、「数や式、表、グラフなどを活用して、数学的に処理できる」また「相対度数の意味を理解している」生徒を育成します。

理科

全国平均正答率と比較して「同様だった」の結果でした。

<理科における成果と課題>

- ・「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる」設問はおおむねできていました。
- ・「身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問い、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる」設問は課題が見られました。設問の例を以下に示します。



<理科における今後の指導や改善策>

- ・理科の授業で、見いだした課題に対して、日常生活や既習事項と関連づいた根拠ある予想を立てる力を身に付けさせるため、予想や仮説を発想できるような指導を継続して行っていきます。

生徒質問紙による学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

<肯定的な回答が全国平均より高い項目>

- ・自分には良い所があると思う。 ・人が困ったときには進んで助ける。 ・友人関係に満足。

<肯定的な回答が全国平均より低い項目>

- ・1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか。1日当たりICT機器を勉強に使っていますか。

<今後の改善に向けての主な取り組み>

- ・自己有用感を高め、将来の夢や目標を持たせます。本校独自のMYゴール手帳の活用を通して計画的な学習習慣を身に付けさせます。ICTの効果的な活用を推進し、学習環境を整えます。